

いっぱんしつもん

建築基準法手続き簡略化を求めて 「地域活性化総合特区」申請を！

新井 重一郎

問 木材利用促進のために、「伝統的木構法」の建物に対し、地域内建築基準法手続きの規制緩和を求める。

答 特区制度が利用できれば、木材利用の推進に繋がる施策、研究する。

問 今後の市内公共建築物の木造・木質化に向けて、市条例制定の提案。

答 国の「木材利用促進法」を受け、本市でも木造・木質化を推進したい。条例化は今後研究していく。

問 木材利用と安らぎの景観のために、塀の木造、生垣化に市の支援を。

答 生垣支援は昨年度までであったが利用がなく中止。木造塀について木材利用と魅力ある街並み形成のため関係部局と協議、研究する。

●秩父市の教育に関する提言

問 「民間人校長」制度の利用。秩父市の教育が、内向きになりすぎていると感じる。ビジネス界で養ったグローバルな視点を持つ人を校長に迎えることは本市に必要。

答 県としては現在これを拡大しないとしている。本市での民間人

登用について県教育委員会と連携を図りながら研究していく。

●秩父市病児・病後児保育の実現を

問 文教福祉委員会は沖縄県名護市（人口、予算規模は秩父市とほとんど同じ）で上記保育の完全実施を視察した。秩父市での実現を。

答 この事業実施には人件費、改修費等に多額の財政負担を伴うため現時点では難しい。



伝統木構法による住宅

◎ふるさと学習センター進捗状況
◎秩父市と埼玉大学との連携協定

普通教室へエアコンの設置を

日本共産党秩父市議団 新井 康一

問 今年の夏は異常に暑い夏で、当市の最高気温は9月7日の37℃でした。学校の状況はどうだったのか伺う。

答 6月から9月の平均室温は28℃で、最高は36℃であった。

問 市内の小中学校の全普通教室にエアコンを設置した場合の試算はしているのか。

答 全226教室で4億5千2百万円である。安心安全な学校づくり交付金を受けても約3億6千万円の設置費がかかる。

問 文科省の学校環境衛生基準では、10℃以上、30℃以下であることが望ましいとしている。次代を担う子どもたちの学習環境の整備にこそ投資すべきではないかと思うが、エアコン設置についての考えを伺う。

答 かなりの財政負担になるので設置は慎重にならざるを得ない。

●光通信網の普及について

問 普及率は91.3%で吉田と大滝の一部が未開通である。この問題は「新市街づくり計画」の中で新市の主要施策の基本方針「秩父地域は山間部に位置するため、情

報通信サービスの地域間格差があり、格差の是正が不可欠である」と書かれている。情報過疎は人口過疎にもつながる。このことに対する見解について伺う。

答 ここでの情報格差の是正は地デジ放送を主眼に置いたもの。国の高速大容量通信サービスの補助事業が21年度で終わり、市単独での整備はめどが立たない。国の新たな助成制度に注視しつつ潜在的需要の顕在化を検討したい。



吉田小学校

いっばんしつもん

市民生活の安心・安全をめざして！

日本共産党秩父市議団 斎藤捷栄

●後期高齢者の人間ドック補助制度の改善について

問 受診後の償還払いとなつて後期高齢者人間ドック補助制度は「使い勝手が悪い」という声が寄せられている。改善できないか。

答 20年度の制度発足以来、20年度53人、21年度90人、今年度はこれまで120人と年度ごとに利用者が増え制度が定着してきている。医療機関への支払が補助金を差し引いた形で実施できないかという要望については、現行の償還払い方式と、補助金分を医療機関へ直接支払い、利用者は差額のみを支払う、いわゆる「受け取り代理方式」のどちらかを選択して利用できるよう、要綱の改正を検討中である。医療機関との協議も踏まえ来年度からの実施に向けて準備を進めて行きたいと考えている。

●介護保険見直しに向けて保険料区分の更なる細分化を

問 現在7段階8階層となっている介護保険料の所得段階区分だが、見直しに向けて所得実態に合わせ更に細分化できないか。

答 前回21年度改正で、従来の6

段階から実質8段階までの細分化を行った。県内でも9段階、10段階区分に設定しているところもある。次期24年度からの改正に当たっては他の市町村との調整も必要となるが、更に細分化していくことを前提に検討していく。



所得階級	保険料額
第1階級	19,770円
第2階級	19,770円
第3階級	38,600円
第4階級	48,400円
第5階級	48,400円
第6階級	61,800円
第7階級	81,370円
第8階級	88,990円

介護保険料段階区分解説パンフレット

- ◎国民健康保険について
- ◎消防広域化について
- ◎消防団と消防水利について
- ◎ゴミ袋の価格改定について

利用しやすい公共施設で地域振興

日本共産党秩父市議団 山中進

問 中津川では地域住民が主体となった地域独自のイベントを開催し好評を呼んでいる。類似している太田部地域についても大学など調査・研究に、ボランティア協力者への施設の提供と地域独自の取り組みへの援助について。

答 太田部地域の支援員が代表を務める「太田部の四季を楽しむ会」による地元産の箱詰め作業や地域の今昔展など開催を予定している。今後、廃校手続きを経たのち、地域の皆さんや大学・社会福祉法人など地域で活動している「太田部を考える会」を中心に地域を支える活動をしている団体や地域の皆さんの活動に、市として支援していく。

●集合住宅など福祉目的の利用が可能か。

答 あらゆる可能性を追求していきたい。ながらさらなる支援をしていきたい。

●歴史文化伝承館に常設展示場の開設。

答 年間スケジュールを立て、公民館活動、クラブ活動など作品展示がない時期に、常設の展示を行い秩父地域の歴史文化や自然に触

問 国道140号線旧セメント引込線陸橋の撤去について。

答 隣接の町会より陸橋の平面化について要望も出ている。県に要望しているが、今の段階では平面化の計画はない。



踊りで地域おこし（太田部地区）

いっぱんしゅもん

蒔田分譲地の販売促進について

金崎 昌之

問 新皆野橋開通や路線バス充実、近隣へのコンビニエンス店等を分譲促進の好機ととらえ、①割高感のある販売価格の引き下げ、②皆野寄居有料道路の料金引き下げや③子ども小公園の設置等で、より積極的な販売促進策をとることが必要か。

答 ①販売価格は再検討すべき時期。②道路料金引き下げは、継続的に要望を行う。③子ども小公園は、近くに子どもの遊べる公園がないこともあり継続して検討する。

「民間外交」支援について

問 海外で秩父屋台囃子を披露し、「秩父ここにあり」と市の親善大使役を担う皆さんがいる。秩父夜祭の世界遺産登録をめざす市として、何らかの支援が必要では。

答 財政面での支援は難しいが、できることは積極的に協力する。

児童生徒の交通安全対策について

問 ①未だ歩道が無く危険な通学路があるが、市の通学路交通安全対策は。②自転車安全運転を学ぶ子ども自転車免許制度の導入は。

答 ①危険箇所の登下校指導等を



通学路の安全対策を

産廃廃棄物最終処分場対策
問 ①既存処分場の水処理再開と②湧水の汚染物質除去対策は。③吉田地区に新たに計画されている処分場に対する市長の考えは。

答 ①11月に県と共に水処理再開を強く会社側に要請した。②汚染湧水の抜本的改善対策を早急に検討するよう県に求めていく。③新たな処分場を造らせてはならない。既存処分場も撤去してもらいたい。

小中学校教育内容等について

上林 富夫

問 教科書および教育内容について。教科書の選定者は誰か。中学生の教科書（社会）はこの会社のものか。「新しい歴史教科書をつくる会」の採用を考えたことはあるか。また、映画「氷雪の門」を真実の歴史教材として取り上げていたかどうか。

答 採択の権限は市町村教育委員会にあるが、法律により、本市は埼玉県第9採択地区に属し、採択協議会は各教育委員会の代表者で構成され、協議会には学校の管理職や教諭からなる調査専門委員会を置き、教科ごとに調査研究を行っている。教科書は、通常4年間同一の教科書を使用することとされ、現在使用している発行会社は8社である。中学生の社会科の教科書は、社会が東京書籍、地図が帝国書院である。また、「氷雪の門」については、他の教材との組み合わせも工夫しながら、戦争の惨禍を伝える資料の1つとして「氷雪の門」の一部を活用することが考えられる。必要に応じて、各小中学校に情報提供したいと考えている。

秩父芸術祭実行委員会について

問 平成21年度の市民オーケストラおよび市民ミュージカルの報償費はどのくらいか。

答 市民オーケストラについては約178万7千円を主指導者はじめ講師陣4名に払っている。市民ミュージカルについては指導者2名に約230万2千円を払っている。



中学生の教科書

◎周辺事態等も視野に入れた万全の市民保護体制